

2016年5月23日
日興アセットマネジメント株式会社

「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」
2016年5月決算のお知らせ

平素は、弊社の投資信託に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース／・資源国3通貨コース／・ブラジルリアルコース」は、2016年5月20日に決算を行ないました。

今回の決算において、ファンドのインカム水準や基準価額水準、今後も安定した分配を継続することをめざすことに加え、分配金を引き下げてファンド内に留めることで期待される再投資の効果などを総合的に勘案し、各コースの分配金を見直すこととしました。

次ページ以降で、新興国ハイ・イールド社債や投資通貨などについて、足元の投資環境や今後の見通しなどを御説明いたしますので、御一読いただければ幸いです。

今後とも、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」を御愛顧賜りますよう、何卒よろしく御願い申し上げます。

＜エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド＞

		円コース	資源国 3通貨コース	ブラジル リアルコース
分配金 (税引前、1万口当たり)	今回(2016年5月)	25円	35円	25円
	前回(2016年4月)	50円	70円	50円
	設定来累計 2016年5月20日現在	3,745円	6,735円	7,895円
基準価額(税引前分配金控除後) 2016年5月20日現在		6,852円	3,807円	2,620円

- 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- 毎決算時に分配金額は委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合もあります。
- 「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース／・資源国3通貨コース／・ブラジルリアルコース」および「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

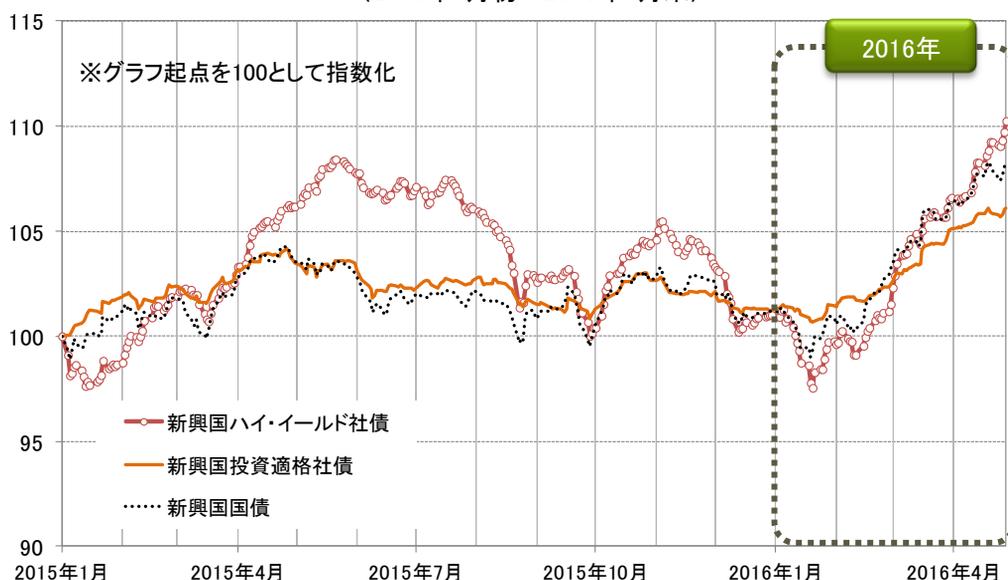
足元の投資環境①

新興国ハイ・イールド社債について

- 2016年初来の新興国ハイ・イールド社債市場は、昨年同様に底入れのきっかけをなかなか掴めない資源価格の推移や、米国の利上げ観測に揺さぶられる展開となりました。
- 1月下旬にかけ、根強い中国人民元の切り下げ観測や、原油に代表される資源価格の継続的な下落により、投資家のリスク回避姿勢が強まり、信用力が比較的低いハイ・イールド社債のパフォーマンスは投資適格社債に劣後しました。年初来の推移を市場を代表する指数(以下参照)で見ると、新興国ハイ・イールド社債は一時3.4%下落(1月21日時点、米ドルベース)しました。
- その後は、中国の為替政策への懸念が薄れたことや、主要産油国の間で原油増産の凍結合意の期待が高まったこと、また、米国の利上げ観測の後退といった好材料により市場は反転しました。多数のリスク資産が上昇する中で、年初来の下げ幅が大きかった新興国ハイ・イールド社債は大きく反発し、4月末までのリターン(年初来)は9.1%となりました(米ドルベース)。

新興国ハイ・イールド社債は足元で戻り基調に

<主な新興国債券のリターンの推移(米ドル・ベース)>
(2015年1月初～2016年4月末)



- 新興国ハイ・イールド社債: JP モルガンCEMBI ディバーシファイド・ノン・インベストメント・グレード
 - 新興国投資適格社債: JP モルガンCEMBI ディバーシファイド・インベストメント・グレード
 - 新興国国債: JP モルガンEMBI グローバル・ディバーシファイド
 - 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
 - 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記コメントは、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト」を運用するブルーベイ・アセット・マネジメントからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成しています。

足元の投資環境②

資源国3通貨(ブラジルレアル、南アフリカランド、オーストラリアドル)について

●各通貨は昨年の流れを引き継ぎ、2016年は下落基調で始まりました。その後、2月に入り、中国経済の安定と資源価格の反発への期待が高まったことや、米国の利上げ観測が後退し、米ドルが売られたことから、各通貨は米ドルに対して大きく反発しました。ただ、米ドルは円に対しても売られ、円高傾向となったことにより、南アフリカランドとオーストラリアドルは昨年12月よりも、円高の水準にあります。一方、ブラジルレアルについては、大統領の弾劾の可能性が高まり、政治面の停滞が打破されるとの期待から、円に対しても上昇しました。

【ブラジルレアル】

汚職事件に関する捜査の進展に加え、国内経済に好転の兆しが見られないなか、ルセフ大統領の支持率は低下し、弾劾手続きが本格化しました。ただ通貨レアルは、次期政権への期待や、これまでの値下がりや売られ過ぎとの見方が拡がり堅調な推移となりました。

【南アフリカランド】

昨年末の財務相の更迭などの政治的混乱に加え、経済情勢や財政面での懸念が通貨ランドの重石となりました。通貨安を受けた輸入物価上昇や国内の干ばつの影響から同国のインフレ率は高止まりしており、南アフリカ準備銀行(中央銀行)は今年に入って2度の利上げを強いられています。

【オーストラリアドル】

2015年に複数回の利下げが行なわれ、政策金利を過去最低の2.0%に引き下げたこともあり、足元では実質GDPや小売売上高などの経済指標が改善傾向を示しています。一方、軟調であった資源価格も、直近では一部で反発の兆しが見られるようになり、経済的な結びつきの深い中国経済にも安定が見られることが通貨ドルの支援材料となっています。

【資源国3通貨の推移(対円)】(2015年1月初～2016年4月末)



【年初来騰落率】
(2016年4月末現在)

ブラジルレアル	1.9%
南アフリカランド	▲3.9%
オーストラリアドル	▲7.6%

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記コメントは、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト」を運用するブルーベイ・アセット・マネジメントからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成しています。

■当資料は、投資者の皆様には「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース／資源国3通貨コース／ブラジルレアルコース」および「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通し

新興国ハイ・イールド社債について

●これまで新興国経済は、波があるものの先進国を上回る成長を遂げており、新興国における資金需要を背景に新興国ハイ・イールド社債市場は順調に拡大を続けております。また、その信用力は先進国におよばないものの、改善傾向にあると見られます。そうした上で、今後の市場を見るにあたっては、以下のような事項に留意する必要があると考えています。

- 中国経済の行方
- 資源価格の動向
- 米国の利上げサイクル

●足元の新興国ハイ・イールド社債の反発は、資源価格の上昇に伴う投資家心理の改善という要素も大きいと見ており、新興国社債のファンダメンタルズ自体の改善による要因だけではないと考えています。実際に、原油価格の低下などにより不振となっているエネルギー関連セクターを中心に、新興国ハイ・イールド社債のデフォルト率は高止まりが見られるなど、新興国社債のファンダメンタルズには弱い部分も散見されます。

●こうしたことを踏まえ、当面は景気に左右され難いセクターを中心に慎重な姿勢で投資を行なうと共に、中長期的にはボトムアップ・リサーチに基づく銘柄分析によって、安定した価格と金利収入を得られる銘柄を厳選して運用を行ないます。

資源国通貨について

●直近の資源価格の反発は、積み上がっていた売り建ての解消に伴う買戻しの要因が多いと見られます。また、需給面の改善は道半ばであると見ていますが、資源国それぞれに経済や政治面のテコ入れ策を打っており、緩やかではあるものの通貨価値が上昇に転じることも考えられます。ただし、原油を始めとした資源価格の動きが今後も鍵を握ると見られ、原油価格が再び軟調な推移となった場合などには、資源国通貨が下押しされる可能性がある点には注意が必要です。

●ブラジルでは政権交代の機運が高まっており、期待先行で通貨リアルも買われていますが、ブラジルの経済問題は一足飛びに解決されるものではなく、今後も注視を続けます。

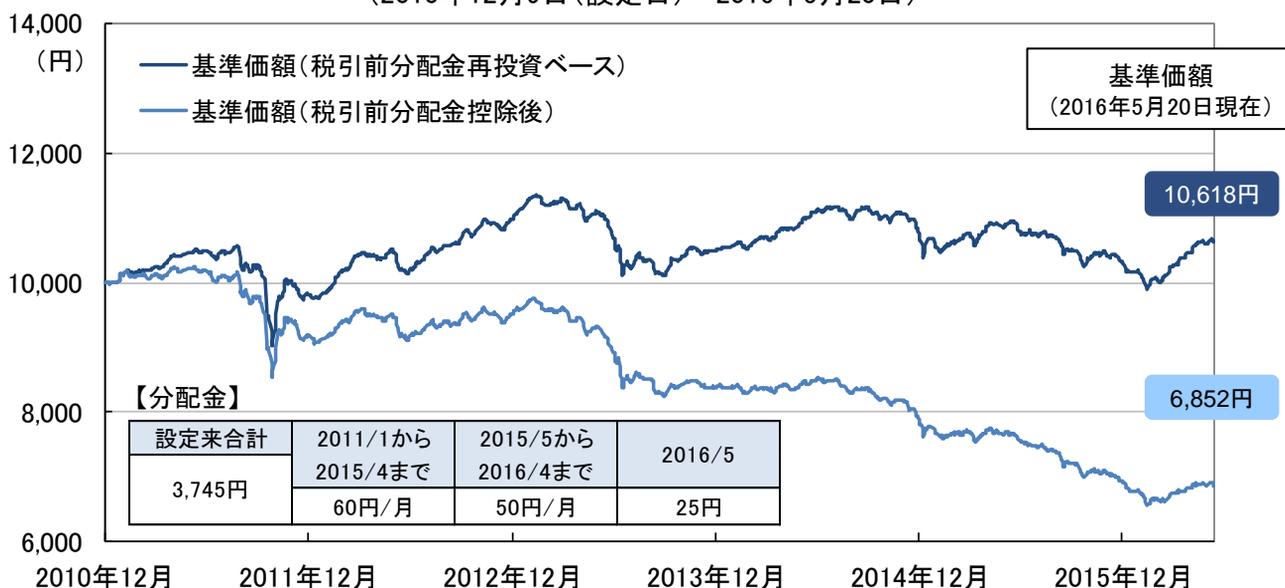
●オーストラリアについては、交易量が多い中国経済と、輸出の大勢を占める資源の価格の動向に、影響を受けやすいことに注意が必要と考えています。

●南アフリカは、高いインフレ率と低い経済成長といった問題を抱えています。米国の利上げサイクルが緩やかになっていることで一息つけている状況です。中央銀行は、インフレ率の高まりを背景に、経済成長率が低い中で政策金利を引き上げるなど、高インフレへの対応を優先した積極的な姿勢を示しており、今後のさらなる取り組みに注目が集まっています。

上記コメントは、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト」を運用するブルーベイ・アセット・マネジメントからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成しています。

各コースの基準価額と分配金の推移

《エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース》
(2010年12月9日(設定日)～2016年5月20日)



《エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース》
(2010年12月9日(設定日)～2016年5月20日)



※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。
 ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース／資源国3通貨コース／ブラジルリアルコース」および「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

各コースの基準価額と分配金の推移

《エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース》
(2010年12月9日(設定日)～2016年5月20日)



【分配金】

設定来合計	2011/1から 2012/7まで	2012/8から 2013/9まで	2013/10から 2015/4まで	2015/5から 2015/10まで	2015/11から 2016/4まで	2016/5
7,895円	160円/月	140円/月	110円/月	80円/月	50円/月	25円

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したのとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。
- ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

【収益分配金に関する留意事項】

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

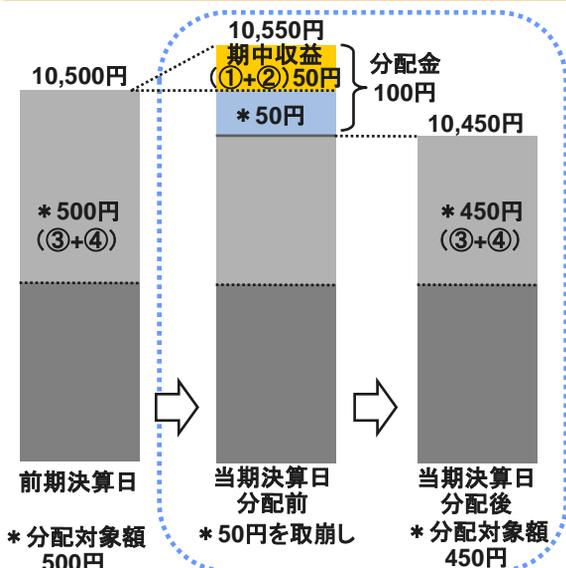


投資信託で分配金が支払われるイメージ

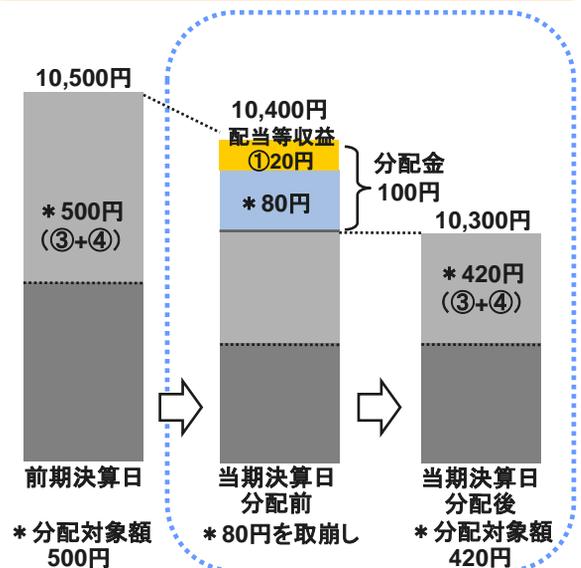
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



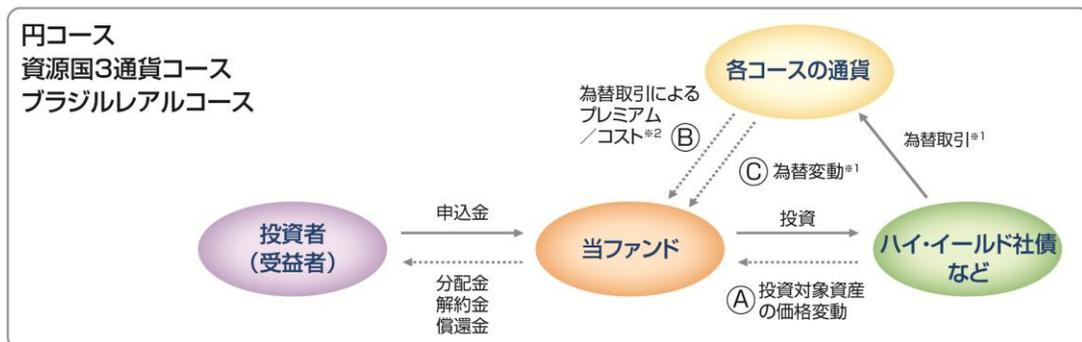
※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 円コースは、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。各コースの通貨が円以外の場合には、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※2 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

	(A)	(B)	(C)
収益の源泉	債券の値上がり/値下がり	為替ヘッジプレミアム/コスト	為替差益/差損
円コース	<p>収益を得られるケース</p> <p>債券価格の上昇</p> <p>損失やコストが発生するケース</p> <p>債券価格の下落</p>	<p>ヘッジプレミアムの発生</p> <p>円の金利 - 原資産通貨の加重平均金利がプラス</p> <p>ヘッジコストの発生</p> <p>円の金利 - 原資産通貨の加重平均金利がマイナス</p>	<p>原則として</p> <p>為替ヘッジを行ない、</p> <p>為替変動リスクの</p> <p>低減を図ります。</p>
資源国3通貨コース ブラジルリアルコース	<p>収益を得られるケース</p> <p>債券価格の上昇</p> <p>損失やコストが発生するケース</p> <p>債券価格の下落</p>	<p>プレミアム(金利差相当分の収益)の発生</p> <p>各コースの通貨の金利* - 原資産通貨の加重平均金利がプラス</p> <p>コスト(金利差相当分の費用)の発生</p> <p>各コースの通貨の金利* - 原資産通貨の加重平均金利がマイナス</p>	<p>為替差益の発生</p> <p>各コースの通貨に対して円安</p> <p>為替差損の発生</p> <p>各コースの通貨に対して円高</p>

*資源国3通貨コースは、3通貨の短期金利の平均値です。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

※為替取引には、為替ヘッジ(米ドルを売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■当資料は、投資者の皆様へ「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース/資源国3通貨コース/ブラジルリアルコース」および「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド
・円コース ・資源国3通貨コース ・ブラジルリアルコース

1. 主として、新興国のハイ・イールド社債に投資します。

- 当ファンドは、ブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーが運用する外国投資信託「EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト」の各クラスを通じて実質的に新興国のハイ・イールド社債に投資します(*)。
* 上記の外国投資信託は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。

2. 為替変動リスクの異なる3つのコースをご用意しました。

- 「円コース」「資源国3通貨コース」「ブラジルリアルコース」の3つからお選びいただけます。
- 上記3コース間および「マネープールファンド」の間でスイッチングが可能です。
※「資源国3通貨コース」は、ブラジルリアル、南アフリカランド、オーストラリアドルで原則として均等に投資します。

3. 原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

- 利子収入や値上がり益などを原資として、毎決算時に安定した収益分配を行なうことをめざします。
- 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

ファンドの特色

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド
(マネープールファンド)

「マネー・アカウント・マザーファンド」ならびにわが国の国債および格付の高い公社債などに投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

- 主に、「マネー・アカウント・マザーファンド」ならびにわが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、毎年2月と8月の各20日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。
※「マネープールファンド」はスイッチング専用のファンドであり、直接購入いただくことはできません。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

●リスク情報

【円コース】

【資源国3通貨コース】

【ブラジルリアルコース】

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

(次ページへ続きます)

(前ページより続きます)

【為替変動リスク】

◆円コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が米ドルの金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。
- ・投資対象とする外国投資信託において米ドル建て以外の債券を組入れた場合は、実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行なった上で、円で為替ヘッジ(対米ドル)を行ないます。

◆資源国3通貨コース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、実質的に米ドル売り、資源国通貨(ブラジルレアル、南アフリカランド、オーストラリアドルの3通貨)買いの為替取引を行なうため、資源国通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が資源国通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては資源国通貨と米ドルの金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、資源国通貨の金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと資源国通貨の金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託において米ドル建て以外の債券を組入れた場合は、実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行なった上で、資源国通貨で為替取引(対米ドル)を行ないます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆ブラジルレアルコース

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、実質的に米ドル売り、ブラジルレアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルレアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルレアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルレアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルレアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルレアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託において米ドル建て以外の債券を組入れた場合は、実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行なった上で、ブラジルレアルで為替取引(対米ドル)を行ないます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

【デリバティブリスク】

- ・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。(次ページへ続きます)

(前ページより続きます)

【マネープールファンド】

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース／・資源国3通貨コース／・ブラジルリアルコース／(マネープールファンド)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

【各通貨コース】はエマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの各通貨コースの内容、【マネープール】はエマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

商品分類	【各通貨コース】追加型投信／海外／債券 【マネープール】追加型投信／国内／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	【各通貨コース】 購入申込日がロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日、12月24日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※マネープール スイッチングを伴う購入の申込みについて、スイッチング対象である各通貨コースの換金不可日には受付を行ないません。
信託期間	2020年8月20日まで(2010年12月9日設定)
決算日	【各通貨コース】毎月20日(休業日の場合は翌営業日) 【マネープール】毎年2月20日、8月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	【各通貨コース】 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。 【マネープール】 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	【各通貨コース】 換金請求日がロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日、12月24日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※マネープール スイッチングを伴う換金の申込みについて、スイッチング対象である各通貨コースの購入不可日には受付を行ないません。 *スイッチングを伴わない換金の申込みについては、販売会社の営業日に受付を行ないます。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

【各通貨コース】はエマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンドの各通貨コースの内容、【マネープール】はエマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	<p>【各通貨コース】 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、<u>3.78%(税抜3.5%)</u>を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 (金額指定で購入する場合) 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 (口数指定で購入する場合) 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.78%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、 購入時手数料=購入金額(100万円)×3.78%(税込)=37,800円となり、 購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万7,800円をお支払いいただくこととなります。 【マネープール】 ありません。 ※マネープールはスイッチング以外の購入はできません。</p>
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	<p>【各通貨コース】 純資産総額に対して年率<u>1.8324%(税抜1.75%)</u>程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。 信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1124%(税抜1.03%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.72%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 【マネープール】 純資産総額に対して年率<u>0.594%(税抜0.55%)</u>以内を乗じて得た額となります。</p>
その他費用	<p>目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、<u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u>が信託財産から支払われます。組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。</p>

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース／資源国3通貨コース／ブラジルリアルコース」および「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号	○		○	○

(50音順・資料作成日現在)

nikko am
Nikko Asset Management